

I 令和7年度予算概算要求の姿

令和7年度 厚生労働省予算概算要求の姿

(令和6年度予算額)
33兆8,189億円
(令和7年度要求額)
34兆2,763億円
(対令和6年度増額)
(+ 4,574億円)

一般会計

(単位：億円)

区 分	令和6年度 予算額 (A)	令和7年度 要求額 (B)	増△減額 (C) (B-A)
一般会計	338,189	342,763	4,574
うち 年金・医療等 に係る経費	320,698	324,375	3,677
うち 重要政策推進枠	-	1,508	-

[計数整理の結果、異同を生ずることがある。]

(注1) 令和6年度予算額は当初予算額であり、国土交通省及び環境省から令和7年度予算概算要求を行う関連予算1.4億円を除く。

(注2) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。

特別会計

(単位：億円)

区 分	令和6年度 予算額 (A)	令和7年度 要求額 (B)	増△減額 (C) (B-A)
労働保険特別会計	32,413	33,813	1,400
年金特別会計	727,084	702,559	▲24,525
子ども・子育て 支援特別会計 (育児休業等給付勘定)	9,312	10,577	1,266
東日本大震災 復興特別会計	76	83	7

[計数整理の結果、異同を生ずることがある。]

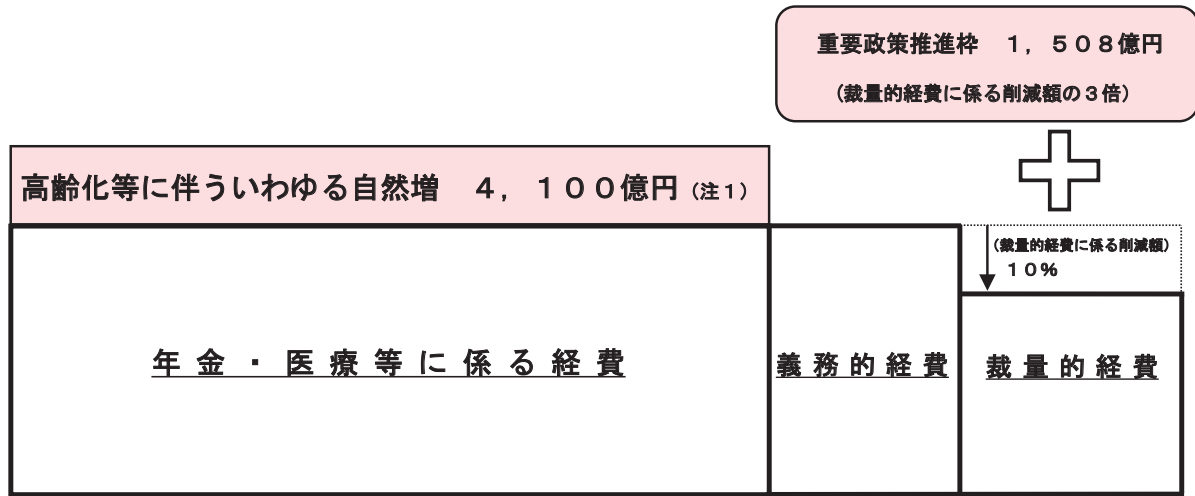
(注1) 令和6年度予算額は当初予算額である。

(注2) 各特別会計の額は、それぞれの勘定の歳出額の合計額から他会計・他勘定への繰入分を除いた純計額である。

(注3) 育児休業給付関係予算については、労働保険特別会計（雇用勘定）から子ども・子育て支援特別会計（育児休業等給付勘定）に組替えて計上している。

(注4) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。

令和7年度 厚生労働省予算概算要求のフレーム



注1 他府省所管予算に係る増加額400億円を含む。

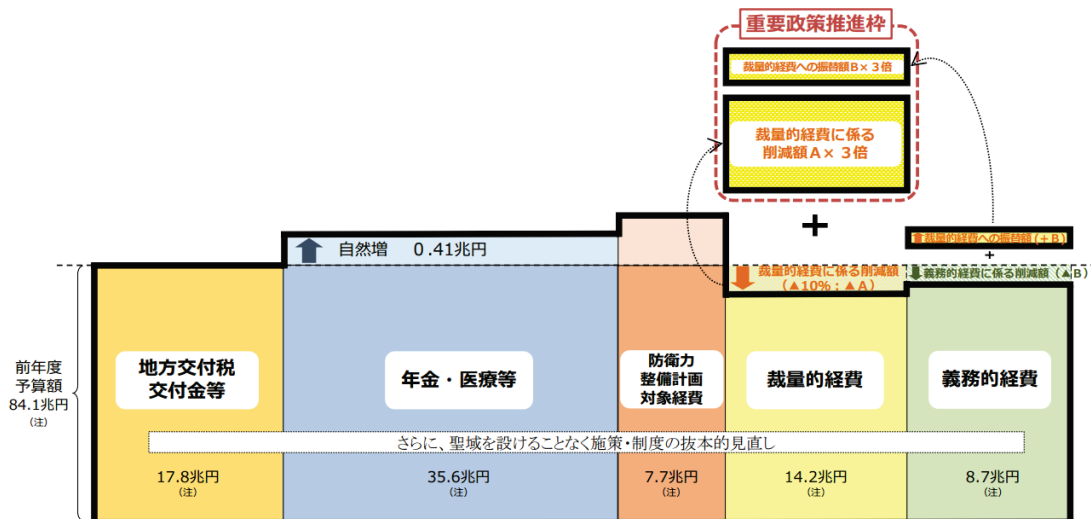
注2 消費税率上げとあわせ行う社会保障の充実及び「新しい経済政策パッケージ」で示された介護人材の確保については、消費税収、地方消費税収並びに重点化及び効率化の動向を踏まえ、予算編成過程において検討する。

また、過去の年金国庫負担繰り延べの返済などについても予算編成過程で検討する。

注3 物価高騰対策、賃上げ促進環境整備対応等を含めた重要な政策については、必要に応じて、「重要政策推進枠」や事項のみの要求も含め、適切に要求・要望を行い、予算編成過程において検討する。

財務省作成資料

令和7年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について



※防衛力整備計画対象経費については、「防衛力整備計画」を踏まえ、所要の額を要求。「こども未来戦略」で示された「こども・子育て支援加速化プラン」の施策については、同戦略に基づいて要求。地方交付税交付金等については、「経済・財政新生計画」との整合性に留意しつつ要求。義務的経費については、参議院議員通常選挙に必要な経費等の増減について加減算。

(注) 上記の計数は前年度予算額であり、原油価格・物価高騰対策及び賃上げ促進環境整備対応予備費、令和6年能登半島地震への対応のために増額した一般予備費5000億円分を除いたもの。当該経費を含めると、前年度予算額の総額は85.6兆円、義務的経費は10.2兆円。

予算編成過程における検討事項

- ✓ 要求・要望は賃金や調達価格の上昇を踏まえて行い、予算編成過程において適切に反映。
- ✓ 物価高騰対策、賃上げ促進環境整備対応等を含めた重要な政策については、必要に応じて、「重要政策推進枠」や事項のみの要求も含め、適切に要求・要望を行い、予算編成過程において検討。